

はしがき

わが国の畜産経営は、家族経営においても夫婦が協力して経営を行う事例が多く、経営における婦人の地位も家族経営協定の締結や法人化により確立されつつある。併せて、畜産において知的労働の増加や6次産業化など女性が活躍しやすい場面が増えており経営参画の面でも期待されている。

また、近年では動物を相手にする職業という点で、畜産に就職を希望する女性が増えており、畜産は他の農林水産業と比較して女性の参画が進んでいる分野である。

ことから、本会では、畜産経営の担い手として期待される女性の能力をより発揮するために必要な環境整備やキャリアアップ等のための課題と対応方向等を明らかにするとともに地域の女性リーダーの育成やネットワーク活動を推進することにより畜産の現場での女性の活躍推進を図ることを目的として、日本中央競馬会特別振興資金助成事業により、平成27年度から平成29年度の3年間をかけて畜産現場における女性の活躍推進事業（畜産経営における女子力発揮推進事業）を実施してきた。

本事業では、全体検討を行う女子力発揮検討委員会の下に、職場等環境整備並びにキャリアアップ、ワーク・ライフ・バランスの3つの専門部会を設置し、畜産女性を取り巻く課題への対応策を検討してきた。

併せて、委員会での検討に資するために、畜産女性を取り巻く課題等について、全国の畜産経営を対象にしたアンケート調査、畜産経営に従事する女性を参集対象にした意見交換会形式の聞き取り調査、職場等の環境整備などを通じて積極的に女子力を活用している優良経営の現地調査を実施してきた。

本手引きは、これらの調査結果等を基に、畜産女性にとって働きやすい環境を整備していくための課題への対応策を提言として取りまとめたものであり、畜産従事者だけでなく経営支援に携わる関係者にも向けたものである。

本手引きが畜産女性の活躍推進に向けて、畜産経営、経営支援の現場等で広く活用していただけると幸いである。

最後に、本事業の推進にご尽力をいただいた検討委員会委員、専門部会委員、調査等にご協力をいただいた全国の畜産経営、新たな畜産女性リーダーの育成等にご協力をいただいた15道県畜産協会等の関係各位に深甚の謝意を表す次第である。

平成30年3月

公益社団法人中央畜産会